



いきがい・助け合い サミット in 東京

今年度もいきがい・助け合いサミット in 東京のポスターセッションに参加しました。去年は全国7位で入賞し、今年こそはと意気込みましたが、20位以内の入賞もできず残念な結果に終わりました。ただ子ども見守り隊の素敵な取り組みを伝えることができたのかなと感じています。いきがい・助け合いサミットは今回で最後になりましたが、またこの様な機会があったら積極的に参加し、素敵な取り組みを創り上げて伝えていきたいと思えます。いつも協議体や見守り隊にご協力いただいている皆さんありがとうございます。結果が振るわずすいませんでした。これからもよろしくお願ひします。



あとがき
12月に入り今年も残すところあとわずかとなりました。皆さん今年はどうな1年でしたか？今年の平野は怪我の多い1年だった印象があります。来年は少し自分の体を気遣ってみようと思ひます。皆さんもお体を大事になさってください。9月1・2日と2日間に渡り開催された、いきがい・助け合いサミットでは、共生社会をつくる地域包括ケア～生活を支え合う仕組みと実践～と題し全体シンポジウムと37の分科会が行われました。その中でも、SOSを出せない人へのアプローチとしてどんなに立派な相談窓口があったとしても、そこまでたどり着ける人はごくわずかという言葉が印象に残った。たどり着けない人にあの人に言ったら何とかなる、どこかに繋いでくれるよというような地域づくりをしていきたいと、これからも思ひ続けていきたいと思ひました。また、支援が必要な人に迷惑がかかるから大丈夫という言葉ではなく、困っているから何かないかと相談できるような地域にしていきたいと思ひました。その為には、これからも1件1件伺ひ丁寧に関わり、顔の見える関係づくりをしていきたいと思ひます。どうぞこれからも皆さんよろしくお願ひいたします。

発行日 令和4年12月15日
発行・編集 赤井川村たすけあい隊 事務局：赤井川村社会福祉協議会
〒046-0501
余市郡赤井川村字赤井川318番地1 赤井川村デイサービス内
TEL 0135-34-6068 E-mail:hirano @akaigawa-shakyo.or.jp



地域の社会資源 移動販売 おまかせ便カケル

コープの移動販売。おまかせ便カケル

火曜日	金曜日
12:00 赤井川 281	11:45 日の出 5-5
12:15 赤井川 309	11:55 赤井川 281
12:25 寿団地	12:10 ペンション赤井川
12:35 緑ヶ丘団地	12:20 赤井川 83-3
13:00 シルバーハウジング	12:30 寿団地
13:30 赤井川デイサービスセンター	12:40 緑ヶ丘団地
13:50 中央団地	13:05 シルバーハウジング
14:00 旭団地	13:35 赤井川デイサービスセンター
14:15 赤井川 289	13:55 中央団地
	14:10 旭団地



No.16

赤井川村生活支援体制整備協議体(赤井川村たすけあい隊)
赤井川村/赤井川村社会福祉協議会

11月協議体でたすけあい隊と
民生委員児童委員で交流を行いました。

民生委員児童委員はこんな事しています。

民生委員児童委員は、住民の**身近な相談相手**として、**関係機関へのつなぎ役**や、**地域の見守り役**として、さまざまな活動をしています。



子どもの登下校時に見守りや声かけを行います。子どもにとって地域の身近なおじさん、おばさんとなり、時には悩みごとの相談にものります。



高齢者や子育て家庭の居場所づくりや仲間づくりのため、サロン活動の運営に協力しています。



地域の課題や住民支援に協力して取り組むため、行政機関や関係者と定期的に打合せを行います。



ひとり暮らしの高齢者や子育て家庭など、地域の住民を訪問し、日常生活での困りごとなどについて、相談にのります。



お気軽に相談してみてください。きっと必要なところに繋いでくれたり、親身になって話を聞いてくれると思います。

民生委員児童委員はお住いの地区に1名います。
民生委員児童委員は守秘義務のもと活動しています。

生活支援体制整備事業とは

生活支援体制整備事業は、地域の**支え合い活動の充実・創出**や、地域の高齢者の**社会参加**、**地域ならではの支え合い**の仕組みづくりの推進をしていく事業です。

ざっくり言うと**地域づくり**をしていく事業です。



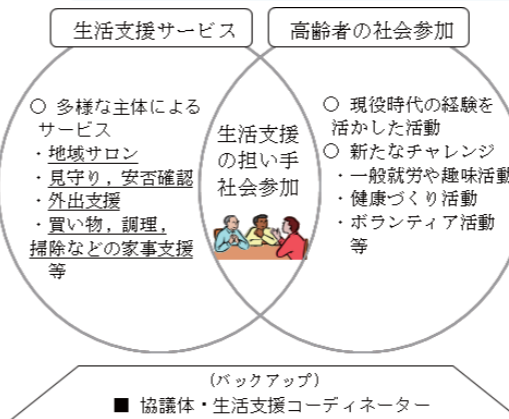
生活支援体制整備事業は、住民さんと地域を作り上げる、**住民が主体**の事業です。

協議体と**生活支援コーディネーター**が地域の支え合いづくりの為に活動しています。



生活支援コーディネーターとは地域支えあい推進員とも言い、地域のニーズや困りごとの相談にのり適切なサービスに繋いだり、足りない**社会資源**を作っていく役割です。

生活支援コーディネーターだけでは、地域づくりに限界がある為、**協議体構成員**として各分野の得意な方や、自分たちの住んでいる地域を何とかしたい熱い住民の方等に協力してもらい成り立っています。



楽しみがもてる企画や集まりの場を考え、繋がりを作り、その先の支え合いへ



月に一度**協議体**で地域づくりの話し合いをしています。



協議体も地域の身近な相談相手として活動しています。お気軽に相談してみてください。きっと必要なところに繋いでくれたり、親身になって話を聞いてくれると思います。**協議体**は、保健福祉課、地域包括支援センター、あまらんす1号館・2号館、社会福祉協議会、平野第1層生活支援コーディネーター、藤井第2層生活支援コーディネーター、能登第2層生活支援コーディネーター、向井第2層生活支援コーディネーター、矢野一江さん、福田明美さん、指田良一さん、消防支署長、駐在所長、商工会、診療所で構成され、相談や困りごと等を聞き繋いでくれたり、協議体の場で議題として挙げ話し合い、必要なものを考えていきます。

協議体構成員は守秘義務のもと活動しています。

